

**後** 奥池公園にどんぐりの苗木を植樹  
生に緑の森を残すために

どんぐりの苗木を植えて地域を緑化する「どんぐりの森づくり」が6月25日に奥池公園（弁城）で行われました。今年で5回目を迎えた衛生機器メーカーのTOTO社員と市民が協力して行うこの取り組みに、今回は約150人が参加。自宅などで育ててきたどんぐりやアラカシ、コナラの苗など約70本を、公園の斜面を利用したスペースに丁寧に植えました。



↑「はやく大きくなってね」と声を掛けながら心地よい汗を流して植樹を行う参加者。

↓ チームメイトや指導者、保護者など全員の力が一つになってつかみ取った県3位。



**最** 金田ジュニアクラブが県3位  
高の仲間と一緒に九州大会へ

小学生の甲子園と言われている「全日本学童軟式野球大会」の県予選が7月2日に久留米市で行われ、筑豊大会を勝ち抜いた金田ジュニアクラブが3位を勝ち取りました。準々決勝を劇的なサヨナラ勝ちで制したジュニアクラブは、勢いそのままに準決勝に臨みましたが、2点差で惜敗。優勝こそ逃しましたが、8月20日から始まる「九州学童大会」の出場権を獲得しました。

↓「右・左!」と声を掛けて目隠しした子どもを誘導。この後見事スイカが割れました。



**岩** 福智町ジュニアリーダー交流会  
屋権現で学校の枠を超えた交流

町子ども育成連絡協議会主催の「ジュニアリーダー交流会」が6月25日から1泊2日で開催されました。岩屋権現（弁城）で行われた今回は、町内の各小学校6年生9人が参加。雨で予定を変更しながらとなりましたが、共同作業で力を合わせてテントを張ったり、飯ごうを炊いてカレーを作るなど、初めて会ったメンバーはすぐにうち解け、充実した2日間を送りました。

↓ 遺跡についての説明を身乗り出して聞き入る児童たち。知らないことばかりで驚きの連続でした。



**弥** 伊方小2年生が遺跡発掘現場を見学  
生時代の伊方地区に触れる

5月末から作業を行っていた伊方小学校敷地内の遺跡発掘現場で、伊方小2年生55人が7月12日に発掘作業を見学しました。学芸員が今発掘しているのは弥生時代の集落跡地だと解説すると、児童から「なんで時代が分かるの」「どうやって遺跡を見つけるの」など、初めて見る光景に興味津々。特別に現場近くまで踏み入ることが許され、土器や住居の跡地を実際に触れることで、2千年以上前の生活や文化を身近に感じているようでした。遺跡発掘調査は、8月中旬ごろまで行われる予定です。

**香** 平成23年度春の叙勲  
月孝さんが瑞宝単光章を受賞

地域住民を犯罪などから守り、危険を伴う仕事に長く従事した人を顕彰する「危険業務従事者叙勲」が4月29日に発表され、香月孝さん（伊方・71歳）が「瑞宝単光章」を受賞しました。



警視庁で危険を冒しながらも犯罪の最前線で35年間勤務し続けた田代さん。7月12日に役場を訪れ「このような受賞を受けることができ大変うれしい。これまで支えてくれた人に感謝したい」と受賞の喜びを町長に報告しました。

← 香月さんは6月27日に都内での伝達式と皇居宮中での授賞式に出席し、表彰されました。

↓ スーパー川食（赤池）で一人ひとりに差別のない明るい社会を訴える浦田町長。



**人** 7月は同和問題啓発強調月間  
権意識向上を町民に呼びかけ

福岡県と県内の市町村が取り組む「同和問題啓発強調月間」の一環として7月1日に同和問題への正しい理解と解決を訴えました。町内5か所での街頭啓発や33社の企業訪問で町長をはじめ職員など35人が一人ひとりに啓発チラシと啓発タオルを手渡しで配布。行政や住民が力を合わせた取り組みで、人権意識向上と月間中の啓発行事の参加を呼びかけました。